

Press Release

2013年12月26日

メドピア株式会社

「2014年に利用予定の手帳」について 4割近くはノート型手帳を利用する予定

医師約6万人が参加する医師専用サイト「MedPeer」（メドピア、<https://medpeer.jp/>）を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽（医師）>は、会員医師を対象に「2014年に利用予定の手帳」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

医師専門サイトMedPeer調査結果：「2014年に利用予定の手帳」について（総回答：2,993人）

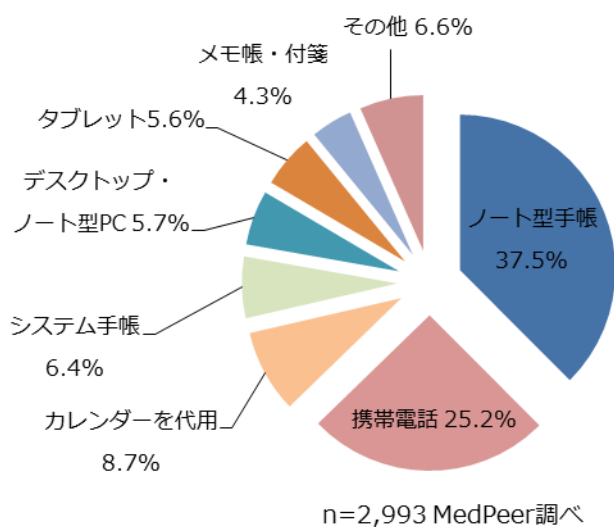
順位	回答	回答数（人）	占有率
1	ノート型手帳	1,123	37.5%
2	携帯電話（スマホ含む。手帳機能を利用）	755	25.2%
3	カレンダーを手帳として代用	259	8.7%
4	システム手帳	191	6.4%
5	デスクトップ・ノート型 PC のスケジュール機能	170	5.7%
6	iPad 等のタブレット端末	168	5.6%
7	メモ帳・付箋など使い捨てのものを代用	129	4.3%
8	その他	198	6.6%
-	合計	2,993	100.0%

サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer（メドピア）に登録する医師（6万人以上）を対象に「**2014年はどうような手帳をご利用予定ですか？**」という質問をしたところ、**2,993**件の回答が寄せられた。
- 「ノート型手帳」が最も多く、37.5%だった。製薬会社から提供される手帳を愛用しているという声が散見される。白衣やズボンのポケットに入れて、いつでも携帯できるサイズが好まれているようだ。

- 「携帯電話（スマホ含む。手帳機能を利用）」は25.2%。「持ち運びができてアップデートもすぐできる」「書き込みだけでなく、削除も簡単にできる」「アラーム機能があり便利」といった声が目立つ。グーグルカレンダーやジョルテといったソフトを利用してPCなどと情報共有している例もあった。
- 「カレンダーを手帳として代用」は8.7%。「持ち歩かなくてもよい」「家族もみられる」「一目でわかる」といった理由が挙げられた。
- 全体を手帳やカレンダーなどのアナログ派と、PC、携帯電話などの電子媒体派に分けると、アナログ派が56.9%、電子媒体派36.5%となった。今のところ、まだ手書き入力のほうが主流のようだ。

▼総合結果



回答コメント（回答一部を抜粋）

「ノート型手帳」 1,123件

- ・毎年病院から支給されるものを使っています。（50代、整形外科・スポーツ医学）
- ・普通のノート型の書き込み手帳、毎年同じ型を使っています。（50代、整形外科・スポーツ医学）
- ・製薬会社からもらったポケットサイズのもの。（60代、リハビリテーション科）
- ・白衣の胸ポケットに入る大きさの手帳です。（50代、一般内科）
- ・できるだけ小さくて薄いものを選んで購入している。（50代、一般内科）
- ・電子媒体だと、データが消失してしまうのが怖いので。（20代、精神科）
- ・高橋の手帳を5年くらい愛用しています。（30代、精神科）
- ・手術の予定などを書きこんで、一目でわかるようにしたいので、ノート型が慣れています。（30代、産婦人科）
- ・毎年同じズボンのポケットに入る大きさで鉛筆がついている手帳です。（50代、消化器内科）
- ・製薬会社から提供された手帳の中から使いやすそうなのを選んで使っています。分厚くても白衣の右ポケットに入る大きさで、沢山書けるものを選んで使っています。（60代、小児科）
- ・日本医師会のものを使っています。（50代、在宅医療）

「携帯電話（スマホ含む。手帳機能を利用）」 755件

- ・スマートフォンを購入後はジョルテという無料アプリをダウンロードし手帳として使用しています。お知らせ機能もあるし細かい情報も書き込めるので、これなしにはスケジュール管理ができません。(40代、脳神経外科)
- ・パソコンと同期できるので便利。(30代、一般内科)
- ・クラウドでパソコン、タブレットともリンクさせてます。抜けがすごく少なくなりました。(20代、呼吸器外科)
- ・小型で常に持ち歩けるので便利です。荷物も増えないですし。(40代、循環器内科)
- ・もともと手帳を多用することはなかったもので、ケータイで十分です。(40代、循環器内科)
- ・書き込みだけでなく、削除も簡単にできるので便利です。(60代、一般内科)
- ・スマホにしてからは、紙の手帳は使わなくなりました。(40代、一般内科)
- ・携帯のカレンダーを利用しています。(30代、呼吸器内科)
- ・持ち運びができてアップデートもすぐ出来て一番便利です。(30代、一般内科)
- ・google カレンダーと連携しているので、どこからでもアクセスできて便利です。(40代、形成外科)
- ・iphone の手帳を利用しています。カルテも含めて、もう字を書くことができない人間になってしまいました。(50代、整形外科・スポーツ医学)
- ・手帳を持って行くのを忘れることがおおく、いつも必ず持っている携帯で管理しています。(40代、血液内科)
- ・仕事もプライベートも一括して管理しています。忘れることもないのですが、電池切れが唯一の弱点です。(20代、救急医療科)

「カレンダーを手帳として代用」 259件

- ・壁掛けのカレンダーに書き込んでいます。(50代、代謝・内分泌科)
- ・わざわざ開かなくても、一目でわかります。(50代、眼科)
- ・歳とともに、手帳を落とす心配から、カレンダーで代用しています。(50代、一般内科)
- ・カレンダーにメモや付箋を貼り付けている。(50代、神経内科)
- ・家族がわかるように当直などをカレンダーに記入するだけ。(40代、産婦人科)
- ・基本的には手帳類は使用しません。カレンダーに大事な用件のみ書き込んで確認しています。(50代、一般外科)
- ・とにかく手荷物が増えるのが嫌いで、携帯なども持ち歩くのが嫌いなので、卓上カレンダーに記入して済ませています。(40代、血管外科)
- ・手帳を持ち歩くのが苦手。机の前にカレンダーを貼り付け予定を記入している。(50代、小児科)

「システム手帳」 191件

- ・以前スマホのスケジュールアプリに予定を入れていたらアップデート時に全て消えてしまった。それ以来、アナログ的に記録するようにしてます。(40代、精神科)
- ・システム手帳は必要なリフィルだけでも追加や削除が簡単にできて便利です。(30代、腎臓内科・透析)
- ・メモ用紙代わりにも使えて便利だからです。(50代、循環器外科)
- ・バイブルサイズ。これが白衣にも丁度いい。(40代、精神科)

「デスクトップ・ノート型PCのスケジュール機能」 170件

- ・デスクトップ・ノート型 PC のスケジュール機能が使いなれているから。(50代、消化器外科)

- ・今は、PC でスケジュールを管理して、職場・自宅、どちらでもチェックができるようにしています。(40 代、リハビリテーション科)
- ・診察室では使いやすいです。(50 代、一般内科)
- ・開業医で、外出が少ないため。(40 代、一般内科)
- ・ノート PC 中心に iCloud で iPad やスマートフォンで一元管理している。(60 代、一般外科)
- ・職場の PC とスマホのカレンダーを同期させて使っています。もう手書きの手帳には戻れません。(40 代、消化器内科)
- ・スケジュールはパソコンで管理しています。持ち歩く必要がある場合は印刷しています。(40 代、精神科)
- ・PC、iPad、iPhone すべて同期されるので、基本は Google。ノートは持ち歩いています、使うとき使わない時のムラがあります。(30 代、泌尿器科)

「iPad等のタブレット端末」 168件

- ・携帯できるタブレット PC を購入したのでメモにも使います。(40 代、脳神経外科)
- ・クラウド上の電子端末の方が、アラーム機能等もありスケジュール管理に便利なので、最近はこれで管理しています。(40 代、小児科)
- ・いつも持ち歩いているので、手帳も入れています。何度も修正できるのでスケジュール管理がすごく便利です。(30 代、産婦人科)
- ・昔は手帳選びにこだわっていましたが、デジタル化してしまいました。楽です。(30 代、神経内科)
- ・iPad 等のタブレット端末において手帳機能が使用できるから。(50 代、眼科)
- ・常に持ち歩くものには書き込んでいます。(30 代、総合診療)

「メモ帳・付箋など使い捨てのものを代用」 129件

- ・特に「手帳」という物を使った事は、ありません。メモ紙とカレンダーの併用で済ませています。(60代、産婦人科)
- ・手帳を使用して長続きしたことがないので、メモで代用です。(30代、一般内科)
- ・必要な事項と予定だけメモ帳に記入しています。(40代、一般外科)
- ・適当に書き込んでクリアファイルに挟んでおき、1週間くらい毎に更新しています。(40代、麻酔科)

「その他」 198件

- ・そんなに予定も無いので、手帳等は使っていません。(50 代、一般内科)
- ・システム手帳と iPhone のダブル使い。実際 iPhone ばかり使ってますが…。(20 代、皮膚科)
- ・秘密が漏れるのですべて頭で記録しています。(30 代、精神科)

※調査方法

□期間：

2013年12月13日（金）～ 2013年12月18日（水）

□有効回答：

2,993人（回答者はすべて、医師専門サイトMedPeerに会員登録をする医師）

□設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、MedPeer事務局（運営：メドピア株式会社）より、以下の質問を投げかけました。

調査フォーム（設問文 抜粋）

2013年も残り少なくなってきました。新しい年を迎えるにあたり、公私のスケジュールやメモを書き留める「手帳」を購入する方も多いのではないのでしょうか。新しい年を、新しい手帳とともに、気分一新スタートさせる方も多いと思います。

ある調査によると、一般のビジネスパーソンの半数近くは、「今の（形式の）手帳に満足だが、来年は新しい手帳を使ってみたい——」と考えているそうです。一方で、近年のスマートデバイス（スマホやタブレット端末）の普及で、“紙の手帳”から、電子媒体に変更する先生もいらっしゃるかもしれません。

そこで、質問です。

MedPeer会員医師の皆さまは、2014年にどのような形式の手帳を使う予定でしょうか。以下の選択肢から当てはまるものをご選択ください。コメント欄には、手帳に関するこだわりや、従来の形式を変更する理由など、ご自由にご意見をお寄せください。

※Google カレンダーなど、複数の端末に対応できるスケジュール機能をご利用の場合は、その機能を最も参照する端末をご選択ください。

1. ノート型手帳
2. システム手帳
3. 携帯電話（スマホ含む。手帳機能を利用）
4. iPad等のタブレット端末
5. デスクトップ・ノート型PCのスケジュール機能
6. カレンダーを手帳として代用
7. メモ帳・付箋など使い捨てのものを代用
8. その他

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 管理部 TEL : 03-6805-0345 / e-Mail : info@medpeer.co.jp

【記事掲載に際してのお願い】

- ・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。
- ・web 上での引用に際しましては、<https://medpeer.jp> へのリンクをお願い致します。

■MedPeer (メドピア) とは - 2013年9月末日時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです (URL: <https://medpeer.jp/>)。会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、“臨床の決め手がみつかるサイト”として、多くの医師に利用されています。現在の会員は 6 万人以上で、日本の医師の約 4 人に 1 人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約 1,900 の医療用医薬品に対して、26 万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上